

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	公表日				利用児童数	回収数		
児童発達支援センター lapoale	2025年 2月 28日				69	18		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	1	1	・現在の場所はテナントの一角であり、子ども達が走り回ったりするには少し狭いように感じる ・運動の部屋、机上の部屋、個室と分かれている	スペースを考慮しつつ、子どもたちが安全にのびのびと活動できるよう、環境の工夫を進めてまいります。屋外活動や室内のレイアウト調整を検討し、より快適に過ごせる環境づくりに努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	2	・活動の部屋がわかれている。活動内容などもわかりやすく記載されている	活動の部屋を分け、活動内容をわかりやすく記載している点を引き続き維持しながら、さらにお子様安心して取り組める環境づくりを進めます。必要に応じて環境の見直しを行い、より分かりやすい支援を目指します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	1	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	3	4		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	1	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	0	0	・モニタリングは行われているが、電話で10～30分程度。共有は出来ているが助言はあまりないように思う	モニタリングに関して、より具体的な助言を行えるよう、聞き取りの内容を整理し、必要に応じて助言の機会を増やすことを検討いたします。対面での面談の機会を増やすことも含め、職員の研鑽と支援の質の向上を図ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	3	3	5		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	0	0		
非常時 等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	1	7	・マニュアルの周知はないように思う	マニュアルの周知が不足しているのご意見を受け、今後は保護者の皆様に向けた説明の機会を設けるとともに、定期的な情報提供を行ってまいります。また、職員向けの訓練の実施状況も共有し、安心してご利用いただけるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2	0	7		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	3	3	シートベルトの着用方法など、移動時の安全対策でバツキがみられる気がする。	シートベルトの着用方法など、安全対策にバツキがあるのご意見を踏まえ、統一したルールの確認と職員間での周知を徹底いたします。移動時の安全確保を強化し、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを進めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	5		
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター lapoale		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全で整った環境づくり。 子どもが気になってしまう道具を見えない場所に置く工夫や、机・椅子などを整理し、安全に過ごせる環境を整えている。	環境整備の徹底。 物の配置や空間づくりに配慮し、安全かつ集中しやすい環境を維持するよう意識している。	環境整備のさらなる工夫。 子どもがより落ち着いて過ごせるよう、環境設定の見直しや、より適したレイアウトの検討を進める。
2	スタッフ間の情報共有と連携の強さ。 集団・個別スタッフ間で課題を共有し、ミーティングや終礼で振り返りを行い、支援の質を高めている。	定期的な話し合いと記録の活用。 全体ミーティングや集団スタッフでの話し合いを行い、特定の支援の結果や課題を共有し、記録に残すことで継続的な改善につなげている。	スタッフ間の連携強化とPDCAサイクルの確立。 振り返りや記録をより活用し、改善点を明確にしながら、より効果的な支援の実践を目指す。
3	専門的な視点を取り入れた支援の実践。 専門家の助言を取り入れながら、実践と修正を重ね、チームとして多角的な視点で支援計画を立てている。	専門的な知見を活かした計画立案。 スタッフが1人で考えるのではなく、多角的な視点を持ち、困っていることと最終的なゴールを明確にしながら支援計画を立てている。	専門知識の学びと実践の強化。 研修の機会をさらに活用し、一人ひとりが最新の知識を取り入れながら、より実践的な支援の質を向上させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や、きょうだい向けのイベントの開催が十分に行われておらず、家族への支援が不足している。 また、ペアレント・トレーニングや研修会などの情報提供の機会も少なく、保護者が学び・相談できる場の確保が課題となっている。	運営上の時間的・人的リソースの制約があり、父母の会の活動支援や家族向けイベントの企画・実施が難しい状況がある。 また、ペアレント・トレーニングなどの専門的なプログラムを実施するための準備や、保護者の参加しやすい形態の検討が十分に行われていない。	・家族支援を充実させるために、まずは小規模でも参加しやすい形での交流機会（オンライン座談会・情報交換会など）を設けることを検討する。 ・また、ペアレント・トレーニングや研修については、外部講師の活用や資料配布を含め、負担を抑えつつ実施可能な方法を模索する。 ・きょうだい支援に関しても、他のイベントと連携させながら取り入れられる形を検討し、少しずつ支援の幅を広げていく。
2	移動時の安全対策やマニュアルの統一性の不足。 シートベルトの着用方法など、安全対策にバラツキがあり、マニュアルの周知が徹底されていない部分がある。	安全対策やマニュアルの浸透不足。 スタッフ間で共通認識を持つ機会が少なく、個々の対応に差が生じている。	安全対策の標準化とマニュアルの徹底。 シートベルト着用のルールを統一し、安全マニュアルを作成・周知する。研修や定期的な確認を行い、全スタッフが共通の対応を取れるようにする。

事業所名	児童発達支援センター lapoale		公表日 2025年 2月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・一度の利用が10人になると狭いので、半分に分けて活動することがある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		・車椅子を使用する方は少ないが、ベビーゲートを使用して部屋を分けている為、通行の妨げになることがある ・道具の整理が難しいので取りやすいように収納したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・子供達が気になってしまう道具は見えない場所に置いている ・安全に過ごせるように机や椅子、物が無い環境づくりをしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		・クールダウンを行う専用の部屋がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・全体的話し合いのほかに集団スタッフでのミーティングができています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・研修の案内の周知がある	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・スタッフに助言を求めながら作成できている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・全てのスタッフの意見や考えを共有している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・集団スタッフ、個別スタッフに課題を共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・集団のミーティングや全体のミーティングで共有している。前日や当日にも再度確認できればいいと思う。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・情報の共有をし、記録に残している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・主で活動を立案するのは1名のスタッフになるが、反省やその場の臨機応変な対応等はチームで立案・改善している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフに助言を求めることがある。 ・集団ミーティング時に次月の内容やプログラムの立案を行い、強化したい事を決めている。園外活動を増やしていきたい。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の支援したときの結果と課題、次の課題を共有して記録に残している。 ・終礼時に振り返りを行い記録をしている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録に残し、次の目標や課題を共有している。 	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に情報の共有は必ず行う。児発管やスタッフが出席している。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や相談員、支援員など担当者会議で定期的に情報を共有している。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問での情報の共有や、送迎時での情報の共有を行なっている。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援シートを活用している。 	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・センター連絡会やこども部会への参加、サマーマルシェ等に取り組んでいる。 ・同法人内の事業所と連携は多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所と連携する機会が、当センター主体で行う研修会等に限られやすい。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家からの助言をいただいている。フィードバックを貰った後に、実践や修正をしながら取り組んでいる。 	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・参加している 	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、もしくは連絡帳での情報の共有をしている。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・1人で考えるのではなく、専門としての多角的な視点で利用者様を見て計画を立てる。困っていることと最終的なゴールは何かを明確にするように心がけている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・送迎時に直接お会いできない場合、お電話でご説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・最初にご利用者様の保護者のお気持ちに共感することを大切にしている。また、俯瞰的に見て助言することも心がけている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	・今後、企画し行っていきたい。 ・サマーマルシェ等のグループ内で可能な合同イベントを企画しており交流の場を作っている。	・父母の会の活動、保護者会、茶話会の機会が設けられていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・他のスタッフに共有し、相談するようにしている。 ・随時、見学相談等は対応できるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・楽しそうな活動内容をお伝えできるように、定期的にSNSで発信している。 ・インスタ、合同誌などを活用しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・肖像権の関係で、画像などには特に気をつけなければならないと思っている。SNSの場合は、作成した後他のスタッフに再度確認してもらうようにしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・気持ちに寄り添うこと、受け止めることを心がけている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・研修では資料の読み合わせだけでなく、実際の避難経路やAEDの場所の確認も行う。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・施設内のすべての店舗と合同での避難訓練や消火訓練に参加している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・個人ファイルを確認するようにしている。また他のスタッフとも随時確認していくようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・使用する器具を別にし、席を離し、間にスタッフが入ることや食べ終わるまで確認すること、万が一の場合の対応も話し合っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・スタッフ同士で器具の確認を行なうようにしている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・定期的な見直し、情報の共有を行なっている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・委員会を設け、担当のスタッフからの周知、研修の実施がある。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・計画書に記載している。記録に残すことを徹底しなければならないと考えられる。		